

令和 5 年度行政評価
(令和 4 年度実施事業)

令和 6 年 1 月

石垣市企画部企画政策課

令和5年度行政評価対象事業一覧(令和4年度実施事業)

部局等	所管課	事業No	事業名称	項
総務部	防災危機管理課	総-防1	FMラジオ自動起動告知放送システム整備事業	1
企画部	企画政策課	企-企1	D石垣市尖閣諸島事務事業	2
	スポーツ交流課	企-ス1	C生涯スポーツ総務費	3
		企-ス2	石垣市スポーツコミッション(仮称)設立事業	4
	観光文化課	企-観1	観光コンテンツ創出事業	5
市民保健部	健康福祉センター	市-健1	石垣市新型コロナウイルス感染症電話相談事業	6
	環境課	市-環1	クリーンセンター整備事業	7
福祉部	介護長寿課	福-介1	老人福祉センター等事業	8
こども未来局	子育て支援課	こ-子1	地域子育て支援センター事業	9
		こ-子2	認可外保育施設保育サービス向上事業	10
		こ-子3	発達支援等保育事業	11
	こども家庭課	こ-こ1	ひとり親家庭等生活向上事業	12
		こ-こ2	子育て世帯特別給付金(充足型)給付事業	13
農林水産商工部	農政経済課	農-農1	捕獲技術高度化施設建設推進事業	14
		農-農2	D甘しょ振興対策費	15
		農-農3	農林水産物条件不利性解消事業	16
	むらづくり課	農-む1	農地耕作条件改善事業(野呂水地区)	17
		農-む2	農業基盤整備促進事業(嘉手苅第2地区)	18
	水産課	農-水1	原油価格高騰に係る漁業経営者支援事業	19
		農-水2	おさかなセット販売事業	20

令和5年度行政評価対象事業一覧(令和4年度実施事業)

部局等	所管課	事業No	事業名称	項
建設部	都市建設課	建-都1	街路事業(石垣3・5・11街路)	21
		建-都2	街路事業(石垣3・5・19街路)	22
		建-都3	旧石垣空港跡地環境影響評価事業(沖振交)	23
	港湾課	建-港1	港湾環境整備事業費	24
	施設管理課	建-施1	公共施設緑化整備事業	25
教育部	教育総務課	教-総1	児童・生徒派遣費助成事業(沖振交)	26
		教-総2	児童・生徒派遣費助成事業(年度末)	27
	学務課	教-学1	遠距離生徒通学対策費	28
	学校教育課	教-教1	総合的学習事業	29
		教-教2	学力向上対策費	30
	いきいき学び課	教-い1	子ども若者総合相談支援事業(沖振交)	31
	文化財課	教-文1	文化財保護啓発費	32
	市史編集課	教-市1	市史編集事業費	33
博物館	教-博1	博物館開館50周年記念事業	34	

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	総-防1	所管課	防災危機管理課		担当係	生活安全	記入者	通事
経費区分	D	事業名	FMラジオ自動起動告知放送システム整備事業					
石垣市 総合計画	防災・消防	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業	
R4当初 の状況 (課題)	緊急防災情報伝達の基幹施設となる防災行政無線は屋外設置となる為、大雨、暴風、車の騒音などによって情報が聞き取りづら い場合があり、また、小さな集落や市街地で未設置の地域がある事から、防災行政無線を補完する新たな緊急防災情報伝達手 段の整備が必要であった。							
めざす 目的・ 成果	本事業は、緊急防災情報を個別により確実に伝達するシステムを整備する事で、市民をより迅速かつ適切な避難行動に導き、地 震や津波など災害による犠牲者を減らす事を目的としている。							
事業 内容 (手段、 手法等)	令和2年度にコミュニティFMラジオ放送の電波を活用した「FMラジオ自動起動告知放送システム」を整備し、防災ラジオを高年齢 や障がいのある避難に困難を伴う要支援者、要支援者を支援する公民館役員、防災行政無線の未整備地区の住人、学校、民間 の福祉施設等に配布(貸与)する事で、より多様な手段による緊急防災情報の伝達が可能となった。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計		52,072	6,431	2,280	3,313	3,313		
財 源 内 訳	国庫支出金	-	-	-	-			
	県支出金	-	-	-	-			
	地方債	-	-	-	-			
	その他	-	-	-	-			
	一般財源	52,072	6,431	2,280	3,313			
事業費の主な内容		委託料	委託料	委託料	備品購入費	備品購入費		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)			計画値(予算現額)	8,083	13,284	3,313		
予算(単位:千円)			実績値(執行予算)	6,431	2,280			
不用額(単位:千円)			不用額	1,652	11,004	3,313		
(アウトプット指標)			計画値	830台	350台	340台		
防災ラジオの無償貸与台数			実績値	573台	42台			
(アウトカム指標)			計画値					
			実績値					
(アウトカム指標)			計画値					
			実績値					
業務量				業務量の算出方法				
職員			0.6 人分	0.3人分×2名				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分					
R4年度においてアウト カム指標で未達成の項 目がある場合、未達成 の原因	世界的な半導体不足など、防災ラジオを製造するための資材不足により、配布するための防災ラジオの購入自体が 出来なかったため。							
R4年度において不用額 が発生した理由	世界的な半導体不足など、防災ラジオを製造するための資材不足により、配布するための防災ラジオをメーカーが製 造できず、それに伴いラジオ自体の購入自体ができなかった為。							
担当による評価 (担当者若しくは担当係長)		事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	事業内容の見直し	事業の終了		
R4年度のアウトカム指 標の結果並びに不用額 の発生理由を踏まえつ つ評価した理由	世界的な半導体不足等の理由により配布するための防災ラジオを製造できないため、不用額が発生した。緊急防災 情報を市民に伝達する施設としては、防災行政無線が基軸となるが、悪天候時に聞こえづらい場合もあることから、そ の補完として防災ラジオを普及させる必要があることから事業の継続とする。							
第1次評価 (課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価 (部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	防災ラジオ製造において、半導体不足等で製品の確保困難と単価 の高騰が懸念されている。			意見	本事業は、緊急防災情報伝達の多様化・強化を目的としてい るので、事業継続が望ましい。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	企-企1	所管課	企画政策課		担当係	企画	記入者	山城
経費区分	D		事業名 D石垣市尖閣諸島事務事業					
石垣市総合計画	第一次産業	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	22	事業終了年度	継続事業	
R4当初の状況(課題)	本市の行政区域である尖閣諸島について、市民をはじめ国内外の方に広く正しく知ってもらう必要がある。							
めざす目的・成果	我が国固有の領土であり、本市の行政区域である尖閣諸島について広く正しく知ってもらうことを目的として、尖閣諸島の歴史や自然環境等に関する情報の収集、また、尖閣諸島及びその周辺海域における適正な維持管理のための調査・研究等を推進し、収集した情報や調査結果を発信することで更なる普及啓発を図る。							
事業内容(手段、手法等)	「尖閣諸島開拓の日」式典の開催や「石垣市尖閣諸島情報発信センター」の運営により、尖閣諸島に関する情報発信及び啓発を行う。また、情報発信センターに展示する資料の充実や、その為の調査・研究等の取組、また、新たな情報発信ツールを構築し、より詳しく、より多くの人に知ってもらえるよう取り組む。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計				2,493	6,451	-		
財源内訳	国庫支出金			-	-	-		
	県支出金			-	-	-		
	地方債			-	-	-		
	その他			-	-	-		
	一般財源			2,493	6,451	-		
事業費の主な内容				委託料	委託料	-		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)			計画値(予算現額)		9,569	6,451		
予算(単位:千円)			実績値(執行予算)		2,493			
不用額(単位:千円)			不用額		7,076			
(アウトプット指標)			計画値		1回	1回		
「尖閣諸島開拓の日」式典の開催			実績値		1回			
(アウトカム指標)			計画値		1回	1回		
石垣市周辺海域実態調査			実績値		1回			
(アウトカム指標)			計画値					
			実績値					
業務量				業務量の算出方法				
職員		1	人分	0.2×5=1.0				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	全て達成している。							
R4年度において不用額が発生した理由	下記理由により委託料が不用となった。 ・ふるさと納税を活用して、「石垣市尖閣諸島デジタル資料館」の制作を行っているが、年度内での完成が困難となったため、次年度へ繰越となった。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	○ 事業の継続		事業内容の見直し	事業の終了			
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	今後も同事業を継続することで、更なる効果が見込める。 不用額については次年度への繰越によるもの。							
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	尖閣諸島に関する基本的な情報を国内外の多くの方々に情報発信することは今後も重要であり、次年度以降も事業継続したい。			意見	課長意見にほぼ同意である。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	企-ス1	所管課	スポーツ交流課		担当係	スポーツ推進係	記入者	長嶺 真未
経費区分	C	事業名	C生涯スポーツ総務費					
石垣市総合計画	スポーツ・趣味	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業	
R4当初の状況(課題)	運動不足で体力に自信がなく、スポーツをする時間や機会がない市民が多く存在している。 ・スポーツ教室の実施(10回/年) ・スポーツ教室の参加人数(10名/1回)							
めざす目的・成果	個人の体力や年齢・目的に応じて、だれでも気軽にスポーツに親しむことができるよう、運動・スポーツに参加しやすい機会を創出する。 ・スポーツ教室の実施(10回/年)→(1回/月、12回/年) ・スポーツ教室の参加人数(10名/1回)→(20名/1回)							
事業内容(手段、手法等)	・スポーツ推進委員独自の教室の実施(例:ベタンク教室、子どもの身体のケア教室、幼児体操教室) ・ホームページや新聞等にスポーツ推進委員の活動報告を掲載。(2回/年)							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計		1,124	644	820	1,702	850		
財源内訳	国庫支出金	-	-	-	-			
	県支出金	-	-	-	-			
	地方債	-	-	-	-			
	その他	-	-	-	-			
	一般財源	1,124	644	820	1,702	850		
事業費の主な内容		旅費	報酬	報酬	旅費	報酬		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		1,666	1,456	1,702		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		644	820			
不用額(単位:千円)		不用額		1,022	636			
(アウトプット指標)		計画値		1回	2回	2回		
スポーツ推進委員活動告知		実績値		0回	0回			
(アウトカム指標)		計画値		前年比 +1回	12回	12回		
競技力の向上・運動不足の解消(スポーツ教室実施回数)		実績値		前年比 +7回	4回			
(アウトカム指標)		計画値		200名	240名	240名		
スポーツ教室参加者数の向上		実績値		167名	72名			
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.3	人分	0.3×1=0.3				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		人分						
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	新型コロナウイルスの影響等によりスポーツ教室の参加人数が減少。特に参加人数の少ない教室は開催を取り止めたため、未達成となった。また、活動周知を積極的に行わなかったことも未達成の原因であると考え。							
R4年度において不用額が発生した理由	スポーツ推進委員の減少や新型コロナウイルスの影響により活動が十分に行えず、報酬の支払額が減少し不用額が発生。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	<input type="radio"/>	事業の拡大	<input type="checkbox"/>	事業の継続	<input type="checkbox"/>	事業内容の見直し	<input type="checkbox"/>	事業の終了
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	個人の体力や年齢・目的に応じて、だれでも気軽にスポーツに親しむことができるよう、巡回スポーツ教室を開催するなど、だれもが参加しやすい様々な機会の充実に取り組む。また、広報誌や市公式SNS等を活用し、スポーツ推進委員の活動を積極的に周知する。							
第1次評価(課等の長)	事業を拡大したい			第2次評価(部等の長)	事業を拡大したい			
意見	市民全体のスポーツ教室にするため、市街地、郊外全ての市民が受講できる巡回教室を開催したい。			意見	市民の健康増進のため、一層の事業拡大を検討したい。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	企-ス2	所管課	スポーツ交流課		担当係	スポーツ推進係	記入者	長嶺 真未
経費区分	D	事業名	石垣市スポーツコミッション(仮称)設立事業					
石垣市総合計画	スポーツ・趣味	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	7	事業終了年度	令和4年度	
R4当初の状況(課題)	合宿・キャンプ受入時には、施設の予約、施設の質問、宿泊施設情報、交通手段、競技団体、観光案内等の様々な問い合わせがあるが、これらの窓口が統一されていないことから、多くのニーズに応えきれていない。							
めざす目的・成果	窓口を一本化し、スポーツを起点としたスポーツの活性化、経済の活性化、利用者の満足度の向上、受入側の意識、技術の向上を目指すため、スポーツコミッションを設立する。							
事業内容(手段、手法等)	スポーツコミッションが地域にもたらす効果について勉強会や講話を開催。また、市内スポーツ関係者、関係団体のほか、観光交流協会、商工会議所等も含めて設立準備委員会を設置し、課題の共有、目指すスポーツコミッションの役割、機能の検討をするため、先進事例を訪問し、組織体制や事業展開、経済効果等について学ぶ。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計				2,031				
財源内訳	国庫支出金			2,031				
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							
事業費の主な内容				旅費				
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			2,635			
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			2,031			
不用額(単位:千円)		不用額			604			
(アウトプット指標)		計画値			10回			
勉強会、講話、先進地視察、設立準備委員会の開催		実績値			12回			
(アウトカム指標)		計画値			1件			
スポーツコミッションの設立		実績値			1件			
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		1.3	人分	0.5人分×2名 0.3人分×1名				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	達成している。							
R4年度において不用額が発生した理由	下記理由により印刷製本費及び委託料が不用となった。 ・スポーツコミッション設立記念誌を作成しなかったため。 ・石垣島スポーツコミッションPRホームページの開設を計画していたが、合宿・キャンプ誘致に係るホームページ開設へ計画変更をしたため、関係団体や紹介施設の調査が必要となり、年度内での開設が困難となったため。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	事業の継続	事業内容の見直し	○ 事業の終了				
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえた評価した理由	設立事業としてスポーツコミッションを立ち上げることができ、アウトカム指標を達成しているため事業終了としたい。不用額について、本事業でのホームページ作成については、スポーツコミッションを設立した旨のPRを目的として計画していたが、合宿・キャンプ誘致に係るホームページ開設へ計画変更したため、また記念誌については、ホームページ内に設立経緯等ページを作成することで足りるため不用とした。							
第1次評価(課等の長)	目的を達成したため、事業終了としたい			第2次評価(部等の長)	目的を達成したため、事業終了としたい			
意見	担当による評価でもあるように、当初の目的を達成したため、事業終了としたい。			意見	課長意見にほぼ同意である。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	企-観1	所管課	観光文化課	担当係	観光推進係	記入者	池城 奈央
経費区分	D	事業名	観光コンテンツ創出事業				
石垣市 総合計画	地域経済	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	24	事業終了年度	令和4年度
R4当初 の状況 (課題)	新型コロナウイルスの影響が徐々に落ち着き、複数の誘客イベントが再開し始めているが、未だ新型コロナウイルス対策のため人数制限せざるを得ない状況にあることから、来年こそは現地で体感したいという人々の興味を繋ぎとめる必要がある。						
めざす 目的・ 成果	新型コロナウイルスの影響を受けた地元の経済回復を図るため、コロナ禍後の誘客に繋げること。						
事業 内容 (手段、 手法等)	豊年祭、ハーリーなどの伝統行事、市主催誘客イベント(南の島の星まつり)及び地域観光プロモーション動画を発信するコンテンツの制作を行う。						
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計				3,544			
財 源 内 訳	国庫支出金			3,544			
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源						
事業費の主な内容				委託料			
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			6,070		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			3,544		
不用額(単位:千円)		不用額			2,526		
(アウトプット指標)		計画値			8本制作		
コンテンツ動画の制作及び配信		実績値			8本制作		
(アウトカム指標)		計画値				4月~7月入域観光客数対前年比平均128%増	
R5年度入域観光客数の増加		実績値					
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員		0.8	人分	0.3人分×1人 0.5人分×1名			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	全て達成している。						
R4年度において不用額が発生した理由	主に委託費精算による執行残。						
担当による評価 (担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	事業の継続	事業内容の見直し	<input type="radio"/> 事業の終了			
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえつつ評価した理由	同事業で作成した動画は再生回数も増え、令和5年度の入域観光客数は毎月前年度に比べ増加しており、一定の効果も上げている。今後も動画を配信することで、更なる効果は見込める。当初の目的である誘客について達成しているため事業を終了としたい。 不用額については委託料精算による執行残。						
第1次評価 (課等の長)	目的を達成したため、事業終了としたい			第2次評価 (部等の長)	目的を達成したため、事業終了としたい		
意見	担当による評価でもあるように、当初の目的を達成したため、事業を終了としたい。			意見	目的を達成したため、事業終了としたい		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	市-健1	所管課	健康福祉センター		担当係	健康づくり係	記入者	我那覇 宗敬
経費区分	D	事業名	石垣市新型コロナウイルス感染症電話相談事業					
石垣市総合計画	保健・医療	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和5年度	
R4当初の状況(課題)	新型コロナウイルス感染症の第6波は一旦終了したものの、6波で主流であったオミクロン株BA.1よりも感染力の高いBA.5が発見され、流行の予測がなされていることから、電話相談の需要が高まることが予想されるため実施が必要である。							
めざす目的・成果	<ul style="list-style-type: none"> 市民の不安の緩和(1日当たりの相談件数20件、年間PCR検査送致総数3,000件) 市の相談電話を開設することで不要な受診を減らし、医療機関の負担軽減を図る。 							
事業内容(手段、手法等)	看護師資格有資格者を確保し、専用の回線で新型コロナウイルス感染症に関する相談業務にあたる。必要に応じてPCR検査や病院の受診につなげる。							
事業費(単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計			0	2,494	7,592	0		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			2,494	7,592			
事業費の主な内容				報酬	委託料			
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		0	4,251	7,592		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		0	2,494			
不用額(単位:千円)		不用額		0	1,757			
(アウトプット指標)		計画値		365日	365日	365日		
電話相談の開設日数		実績値		304日	290日			
(アウトカム指標)		計画値		10件	20件	25件		
1日当たりの相談件数		実績値		14件	25件			
(アウトカム指標)		計画値		2,000件	3,000件	4,000件		
PCR検査送致数(年間)		実績値		2,615件	5,645件			
業務量				業務量の算出方法				
職員		人分						
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		2	人分	0.5人分 × 4人				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	全て達成							
R4年度において不用額が発生した理由	当初予定から期間が短縮されたことによる執行残							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	○ 事業の継続		事業内容の見直し	事業の終了			
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえた評価した理由	アウトプット指標の電話相談開設日数については、新型コロナウイルス感染症の流行状況によるものが大きく予測が困難であるため、計画値を下回り不用額が発生するのはやむを得ない。相談件数については、当初予定の数値を上回っているため、市民の不安感の解消及び医療機関や保健所の負担軽減に大きく寄与したものと考えられる。R5年度については、より実情に即した内容で実施するよう検討していく。							
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	実施方法については検討の余地を残すが、事業自体はワクチンの特例臨時接種が延長されるR5年度まで継続したい。			意見	課長意見にほぼ同意である。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	市-環1	所管課	環境課		担当係	施設管理係	記入者 田盛 優
経費区分	D	事業名	クリーンセンター整備事業				
石垣市総合計画	自然環境	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和7年度
R4当初の状況(課題)	平成9年稼働より25年余経過している石垣市クリーンセンターは、施設の老朽化により焼却能力の低下が著しく、また近年のごみ搬入量の増加により、現在の焼却能力では処理が困難となっているため早急な改修工事が課題となっていた。						
めざす目的・成果	老朽化した施設設備を更新し、機能回復することで近年増加するごみ搬入量に対応し施設の長寿命化を図る。						
事業内容(手段、手法等)	基幹改良工事(主要設備の更新)の実施						
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計			11,850	9,982	2,150,646	3,065,647	
財源内訳	国庫支出金		5,720	-	1,417,800	2,024,756	
	県支出金		-	-	-	-	
	地方債		2,500	9,950	732,100	930,900	
	その他		-	-	-	-	
	一般財源		3,630	32	746	109,991	
事業費の主な内容			委託料	委託料	工事請負費	工事請負費	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			408,243	2,150,646	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			9,982		
不用額(単位:千円)		不用額			398,261		
(アウトプット指標)		計画値			10%	33%	
実施設計等		実績値			11%		
(アウトカム指標)		計画値			5%	18%	
設備機能回復		実績値			2%		
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員		1.2	人分	0.7人分×1人	0.3人分×1人		
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分	0.2人分×1人			
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	性能発注のため、契約締結後に実施設計を行い内容精査し承認されたのちに製品発注となる。実施設計に時間を要しており、製品発注までに至らず一部未達成となっている。						
R4年度において不用額が発生した理由	上記理由により遅れが生じているため翌年度へ繰越						
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	<input type="radio"/>	事業内容の見直し	<input type="radio"/>	事業の終了
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発理由を踏まえた評価した理由	令和3年度より事業を実施し、今年度において工事着手をしており令和7年度までの工期となることから事業継続とした。不用額について、実施設計に時間を要しており製品発注までの遅れによる繰越。						
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	市民生活に影響の大きい事業のため、継続事業としたい。			意見	市民生活に必要な不可欠な施設のため、継続は必要。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	福-介1	所管課	介護長寿課	担当係	がんじゅう	記入者	比嘉 真一
経費区分	C	事業名	老人福祉センター等事業				
石垣市総合計画	福祉	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業
R4当初の状況(課題)	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、イベント開催等への懸念がある。						
めざす目的・成果	老人福祉センターは、市内に居住する高齢者に対し、健康の増進、教養の向上、レクリエーションのための場を総合的に提供することによって、健康で明るい生活を営んでいただく。						
事業内容(手段、手法等)	老人福祉施設として設置された老人福祉センターを高齢者の健康保持増進と生きがいを目指した活動拠点として位置づけ、趣味のクラブ活動等を行う。						
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計			11,480	7,084	8,629	8,629	
財源 内訳	国庫支出金						
	県支出金	183	168	190	199	199	
	地方債						
	その他						
	一般財源		11,312	6,894	8,430	8,430	
事業費の主な内容		委託料	委託料	委託料	委託料	委託料	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			9,825	8,629	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			7,083		
不用額(単位:千円)		不用額			2,742		
(アウトプット指標)		計画値		開催イベント12回	開催イベント12回		
		実績値		開催イベント4回	開催イベント11回		
(アウトカム指標)		計画値		24,000	24,000	24,000	
		実績値		8,428	11,124		
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員		1.8	人分	係内(1.0×1人+0.1×1人)、他係応援(0.2×7人)			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		0.2	人分	係内(0.1×1人)、他係応援(0.1×1人)			
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、イベント開催回数は概ね達成したものの、まだまだ個人個人が自粛する傾向にあり、目標に届かなかった。						
R4年度において不用額が発生した理由	R4年度に発生した不用額のうち、2,727千円は、工事請負費(修繕工事)、需用費修繕費となっており、コロナの影響もあり専門的な知識を必要とする修繕のため実施までの調整に時間がかかり、繰越明許費となる。築40年を経過した施設となっており、今後においても修繕に係る費用が必要となる。						
担当による評価 (担当者若しくは担当係長)		事業の拡大	○	事業の継続	事業内容の見直し	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	指定管理を行っている公共施設であり、指標については今後、改善・充実を目指し事業を継続する。本施設は築40年を経過する施設であるため、老朽化による修繕が毎年度発生し、調整に時間がかかっている。						
第1次評価 (課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価 (部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	本事業は継続が必要な事業である。			意見	老人クラブ連合会の拠点施設として有効に活用されており、高齢者の生きがいがづくり、介護予防等の事業において今後も継続していく必要がある。		

アウトプット指標:目的を達成するための取組(例:道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標:事業によって得られる成果(例:渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	こ-子1	所管課	子育て支援課		担当係	幼保連携係	記入者	譜久盛 真市
経費区分	D	事業名	地域子育て支援センター事業					
石垣市総合計画	福祉	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業	
R4当初の状況(課題)	新型コロナウイルス感染症対策として、施設の利用者の人数制限をしながら、運営を行った。							
めざす目的・成果	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。							
事業内容(手段、手法等)	子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談、地域子育て関連の情報の提供や助言、子育て支援に関する講習等の実施を行う。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計		2,316	4,797	667	19,496	19,496		
財源内訳	国庫支出金		1,007		6,233	6,233		
	県支出金		1,007		6,233	6,233		
	地方債							
	その他							
一般財源		2,316	2,783	667	7,030	7,030		
事業費の主な内容		負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	報酬	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		4,979	2,037	19,496		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		4,797	667			
不用額(単位:千円)		不用額		182	1,370			
(アウトプット指標)		計画値			週2回	週2回		
育児相談会の開催		実績値			週2回			
(アウトカム指標)		計画値			週2回	週2回		
育児相談会の開催		実績値			週2回			
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		1	人分	本業務専属の職員1名必要。				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		3	人分	本業務専属の再任用職員2名、会計年度任用職員1名必要。				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因								
R4年度において不用額が発生した理由	会計年度任用職員を配置予定であったが、再任用職員を配置したため、会計年度任用職員の報酬が不用となった。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	<input type="radio"/>	事業内容の見直し	<input type="radio"/>	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	育児家庭のサポートを行い、保護者の悩みや不安を取り除き公共の場で交流を図ることで子育て家庭の孤立を防ぐ重要な役割を担っているため、今後も事業継続が必要である。							
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	子育て世帯のニーズに応えるため、今後も事業継続が必要である。			意見	課長意見に同意である。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	こ-子2	所管課	子育て支援課	担当係	政策係	記入者	我那覇 恵
経費区分	D	事業名	認可外保育施設保育サービス向上事業				
石垣市 総合計画	福祉	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業
R4当初 の状況 (課題)	多様な保育ニーズに対応した認可外保育施設は待機児童ゼロを継続させる上で重要な役割を担っており、その入所児童の健全な発育と安全確保に対して行政の支援が必要である。						
めざす 目的・ 成果	認可外保育施設におけるサービス向上により、保護者の負担軽減及び入所児童の処遇改善を図る。						
事業 内容 (手段、 手法等)	認可外保育施設入所児童の検診に係る費用や給食費、職員の検便費用等に対する補助を実施する。						
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計		7,731	1,141	747	3,303	3,303	
財 源 内 訳	国庫支出金	-	-	-	-	-	
	県支出金	6,983	1,051	693	3,012	3,012	
	地方債	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	
	一般財源	748	90	54	291	291	
事業費の主な内容		負担金、補助金及 び交付金	負担金、補助金及び 交付金	負担金、補助金及 び交付金	負担金、補助金及 び交付金	負担金、補助金及 び交付金	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		4,112	2,776	3,303	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		1,141	747		
不用額(単位:千円)		不用額		2,971	2,029		
(アウトプット指標)		計画値		4	3	2	
対象となる全ての施設への補助		実績値		4	3		
(アウトカム指標)		計画値		100%	100%	100%	
補助対象施設の児童の検診、職員の検便の実施		実績値		100%	100%		
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員		0.3	人分	0.3人分×1名			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		0.05	人分	0.05人分×1名			
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因							
R4年度において不用額が発生した理由	年度末までの実績額を基に補助基準額に達しているかを算定するため。						
担当による評価 (担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続		事業内容の見直し	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	対象施設における児童の検診及び職員の検便に係る費用に対して補助を実施し、指標を達成した。入所児童の処遇改善と保護者の負担軽減を図るため、継続して事業を実施する。本事業は年度末実績額をもって補助額を算定するものであるため、不用額が発生すると考える。						
第1次評価 (課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価 (部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	担当による評価のとおり、認可外保育施設入所児童の処遇改善等のため事業を継続したいと考える。			意見	課長意見に同意である。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例:道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例:渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	こ-子3	所管課	子育て支援課		担当係	幼保連携係	記入者	譜久盛 真市
経費区分	D	事業名	発達支援等保育事業					
石垣市総合計画	福祉	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業	
R4当初の状況(課題)	教育・保育を必要とし、かつ、心身の発達に支援を要する児童及びこれらに準ずる児童に対する、加配職員の確保が課題となっている。							
めざす目的・成果	加配職員の配置による集団保育での適切な指導、支援の充実により他の児童とともに健全な社会性の成長、発達を促す。							
事業内容(手段、手法等)	加配職員配置に伴う経費に対し補助金を交付する。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計		5,400	9,670	13,350	34,235	34,235		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源		5,400	9,670	13,350	34,235	34,235		
事業費の主な内容		負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		10,500	20,100	34,235		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		9,670	13,350			
不用額(単位:千円)		不用額		830	6,750			
(アウトプット指標)		計画値		2回	2回	2回		
発達支援保育審査委員会の開催		実績値		2回	2回			
(アウトカム指標)		計画値		7名	11名	19名		
加配職員の配置		実績値		6名	9名			
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.3	人分	全体の業務の内、同業務が占める割合が0.1割程度。それを3名で行う。 0.1×3=0.3人分				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	教育・保育を必要とし、かつ、心身の発達に支援を要する児童及びこれらに準ずる児童が在籍する各施設において、加配職員を募集しているが、応募がない施設もある。							
R4年度において不用額が発生した理由	加配職員を採用している施設に対して補助金を交付予定であったが、加配職員の配置ができなかった施設があったことにより不用額が発生した。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)		事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続		事業内容の見直し	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	発達支援児について、加配職員を配置し、集団保育のなかで適切な指導を実施することにより他の児童とともに健全な社会性の成長、発達を促すのが目的であるため、今後も事業継続が必要である。							
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	加配職員の確保が課題ではあるが、事業目的を考えると、今後も事業継続が必要である。			意見	課長意見に同意である。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	こ-こ1	所管課	こども家庭課	担当係	福祉係	記入者	上門 卓也
経費区分	D	事業名	ひとり親家庭等生活向上事業				
石垣市総合計画	福祉	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和13年度
R4当初の状況(課題)	ひとり親家庭は、親と過ごす時間も限られ、家庭内でのしつけや教育等が十分に行き届きにくい。						
めざす目的・成果	基本的な生活習慣の習得支援及び学習支援等を実施し、ひとり親家庭等の子どもの生活の向上を図る						
事業内容(手段、手法等)	親との離別・死別等により精神面や経済面で不安定な状況に置かれるひとり親家庭等の子どもに対し、夏休み期間中に基本的な生活習慣の習得支援及び学習支援等を実施する。						
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計			626	715	959	959	
財源内訳	国庫支出金		313	357	479	479	
	県支出金		156	179	240	240	
	地方債						
	その他						
	一般財源		157	179	240	240	
事業費の主な内容			委託料	委託料	委託料	委託料	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		1,203	899	959	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		626	715		
不用額(単位:千円)		不用額		577	184		
(アウトプット指標)		計画値		20名	20名	20名	
参加申込受付児童数		実績値		17名	11名		
(アウトカム指標)		計画値		20名	20名	20名	
参加児童数		実績値		17名	11名		
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員		0.3	人分	0.3人分×1人			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	令和4年度は委託事業者のコロナの影響による人員の確保や日程の調整ができず午後からの実施となった。利用児童の保護者等から終日実施の希望が多かったが、当初の見込みよりも利用希望者が少なくなった。						
R4年度において不用額が発生した理由	執行残(利用見込人数と実績値の差)						
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	<input type="radio"/>	事業内容の見直し	<input type="radio"/>	事業の終了
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえた評価した理由	当該事業を利用した保護者からは概ね高評価を得られており、ひとり親家庭の生活向上の一助になっているものと考えられる。次年度は事業者と早い段階から協議をし、確実に実施できるようにしたい。						
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	担当の評価にもあるように、ニーズもあり、多くのひとり親家庭の生活の安定と自立に寄与できる事業であるため、当該事業を継続したい。			意見	課長と同意見である。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	こ-こ2	所管課	こども家庭課		担当係	給付係	記入者	田盛 誠治
経費区分	D	事業名	子育て世帯特別給付金(充足型)給付事業					
石垣市総合計画	福祉	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和4年度	
R4当初の状況(課題)	R3年度に実施した「令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金」の給付対象外となった世帯に対し給付することを目的に、市独自施策として本事業を実施したが、対象となる子どもの範囲が令和4年3月31日までに出生した子どもであることから、4月以降に申請を行う対象児を養育する方へ漏れなく給付することが必要である。							
めざす目的・成果	R4年4月以降に申請を行う対象者に対し、申請受付・審査・給付を適正に遅滞なく行う。							
事業内容(手段、手法等)	市ホームページ、SNS、広報誌、地元新聞社2紙を活用し、事業の広報を行った。また、出生届提出後に子育て関連手続きの流れで当該窓口にかかる仕組みを活用し、該当者へ声掛けを実施。R3年度予算から4,005千円の予算繰越手続きを行い予算を措置した。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計			25,349	1,700				
財源内訳	国庫支出金		25,349	1,700				
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							
事業費の主な内容			負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金				
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		26,138	4,005			
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		25,349	1,700			
不用額(単位:千円)		不用額		789	2,305			
(アウトプット指標)		計画値		260人	40人			
申請受付児童数		実績値		252人	17人			
(アウトカム指標)		計画値		260人	40人			
受給済児童数		実績値		252人	17人			
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.2	人分	同時並行的に進める事業数5のうちの1事業				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	全て達成							
R4年度において不用額が発生した理由	執行残(対象児見込数と実績数の差)							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大		事業の継続		事業内容の見直し	○	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえた評価した理由	事業の周知徹底を図り、申請者に対して申請受付・審査・給付を適正に実施することにより、R3.4のアウトカム指標でも計画値(見込数)に近い数値を達成した。また、同事業は、令和3・4年度に実施した「子育て世帯への臨時特別給付金」の付随事業であることから、令和4年度の実施完了により本事業も終了とする。							
第1次評価(課等の長)	目的を達成したため、事業終了としたい			第2次評価(部等の長)	目的を達成したため、事業終了としたい			
意見	当初の事業目的完了のため、事業終了としたい。			意見	課長と同意見である。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	農-農1	所管課	農政経済課		担当係	林務係	記入者 仲田 守善
経費区分	D	事業名	捕獲技術高度化施設建設推進事業				
石垣市 総合計画	第一次産業	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	49	事業終了年度	令和7年度
R4当初 の状況 (課題)	農作物への主な有害鳥獣対策は、猟友会を中心とした石垣市鳥獣被害対策実施隊による駆除活動を行っている。しかし、農家の被害届出から実施隊が現場に駆けつけるまでタイムラグがあり、有害鳥獣の駆除が思うようにできず被害が減らないなどの課題がある。						
めざす 目的・ 成果	農家自身が自衛のため狩猟者免許を取得しやすい環境を早期に整備するとともに、実施隊員の育成と技術向上を図ることを目的とする。						
事業 内容 (手段、 手法等)	令和5年度で基本計画・基本設計業務委託により基本設計を策定し、令和6年度石垣市狩猟者研修センターの実施設設計の後着工。						
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計				764	997	2,000,000	
財源 内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			764	997		
事業費の主な内容				委託料	委託料	工事請負費	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			18,103	997	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			764		
不用額(単位:千円)		不用額			17,339		
(アウトプット指標)		計画値			100%	100%	
基本計画・基本設計の策定		実績値			30%		
(アウトカム指標)		計画値					
農家の狩猟者免許取得件数(整備後に反映)		実績値					
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員		1.5	人分	0.5人分×3名			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因							
R4年度において不用額が発生した理由	建設用地選定に時間を要し、年度内完成が難しいため。						
担当による評価 (担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	○ 事業の継続		事業内容の見直し	事業の終了		
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	鳥獣被害の対策は喫緊の課題であることから、令和5年度に策定する基本計画・基本設計を基に狩猟者研修センターの設置に向けた財源等の検討及び調整を進めていくため、事業継続が必要である。						
第1次評価 (課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価 (部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	鳥獣被害は営農意欲の低下や耕作放棄地の増加につながるため、狩猟者研修センターを設置するまで、事業継続が必要である。			意見	課長意見と同意である。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	農-農2	所管課	農政経済課	担当係	農政係	記入者	米城
経費区分	D	事業名	D甘しょ振興対策費				
石垣市総合計画	第一次産業	R5施政方針	記載なし	マニフェスト番号	記載なし	事業終了年度	継続事業
R4当初の状況(課題)	甘しょの拠点産地として認定を受け、生産量、品質向上のために、特殊病害虫対策に要する農業は高値であることから、生産者の経済的負担はさらに大きい。また、種苗増殖は2~3年利用することで苗が退化し、色味などに変色が生じることから、優良種苗の増殖は必要不可欠である。						
めざす目的・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・イモゾウムシ、アリモドキゾウムシなどの特殊病害虫防除による農作物の被害軽減及び生産農家の経済的負担の軽減。 ・優良種苗の増殖のための種苗は設置。 						
事業内容(手段、手法等)	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫等の被害を抑えるため、生産者の農業購入の負担を軽減するために費用の1/2を負担する。 ・県の優良種苗供給事業を受けるため、本市の種苗圃設置をする。 						
事業費(単位:千円)		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度予算額	R6年度予算額(予定)	
合計		935	576	1,600	2,806	2,500	
財源内訳	国庫支出金	-	-	-	-	-	
	県支出金	-	-	-	-	-	
	地方債	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	
	一般財源	935	576	1,600	2,806	2,500	
事業費の主な内容		負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		2,208	2,347	2,806	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		576	1,600		
不用額(単位:千円)		不用額		1,632	747		
(アウトプット指標)		計画値		1,535	2,024	1,595	
甘しょ病害虫防除資材購入補助金(単位:千円)		実績値		476	672		
(アウトカム指標)		計画値		400t	150t	150t	
甘しょの生産量		実績値		64t	53t		
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員			0.2 人分	0.2×1=0.2人			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			0.3 人分	0.1×3=0.3人			
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	新型コロナウイルス感染症による観光需要の低下に伴い、加工事業者の買取制限により、さとうきび等に転作した農家は数年間かんしょを栽培できない状況が続いているため。						
R4年度において不用額が発生した理由	新型コロナウイルス感染症による観光需要の低下に伴いお土産品の消費の低迷が続いた。そのことから甘しょの生産面積が減少し加工場への搬入が制限され、さとうきびなどの他の農作物に転作したため。						
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続		事業内容の見直し	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	コロナ禍が明け、加工事業者の買取制限も撤廃され、今後、生産拡大が見込まれることから、特殊病害虫防除などの栽培に係る経済的負担を軽減させることが、生産者確保につながると考えるため、事業継続すべきである。						
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	利用量の増加が見込まれるため、今後も安定的な生産量が必要であり、今後も引き続き事業の継続が必要である。			意見	課長と同意見である。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	農-農3	所管課	農政経済課	担当係	農政係	記入者	米城
経費区分	D	事業名	農林水産物条件不利性解消事業				
石垣市総合計画	第一次産業	R5施政方針	記載なし	マニフェスト番号	記載なし	事業終了年度	令和8年度
R4当初の状況(課題)	県内外に出荷される農林水産物は、本土等との直接的結末点を持たない地理的な不利性が生じ、市場価格に輸送費が含まれるため、県内外の農林水産物と価格面において買いたたかれる場面が多く、地元農林水産物生産者にとって不利益が生じる課題が多い。						
めざす目的・成果	・農林水産物輸送費の軽減。						
事業内容(手段、手法等)	・農林水産物の県内外への出荷コストの負担軽減のため一部助成を行う。						
事業費(単位:千円)		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	R5年度予算額	R6年度予算額(予定)	
合計				6,859	137,760	137,760	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金			6,859	137,760	137,760	
	地方債						
	その他						
	一般財源						
事業費の主な内容				負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			38,000	137,760	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			6,859		
不用額(単位:千円)		不用額			31,141		
(アウトプット指標)		計画値			38,000	137,760	
農林水産物条件不利性解消事業(単位:千円)		実績値			6,859		
(アウトカム指標)		計画値			400,000kg	1,081,500kg	
農林水産物の輸送実績(県外出荷分)		実績値			92,217kg		
(アウトカム指標)		計画値			230,000kg	464,100kg	
農林水産物の輸送実績(県内出荷分)		実績値			47,966kg		
業務量				業務量の算出方法			
職員		1.5	人分	1.5×1=1.5			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		0.6	人分	0.2×3=0.6			
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	これまでの農林水産物の輸送にかかる不利性解消事業は、沖縄県事業として実施されており、令和4年度から北部・離島市町村のみを対象とする制度変更に伴い、市としての業務開始が9月からとなった。令和4年9月から令和5年2月にかけて輸送した農林水産物の実績が天候等の影響で通常9月以降の収穫が8月に多くなったことや、生育の遅れによる収穫の遅れが想定する量より少なかったため。						
R4年度において不用額が発生した理由	これまでの農林水産物の輸送にかかる不利性解消事業は、沖縄県事業として実施されており、令和4年度から北部・離島市町村のみを対象とする制度変更に伴い、市としての業務開始が9月からとなった。令和4年9月から令和5年2月にかけて輸送した農林水産物の実績が天候等の影響で通常9月以降の収穫が8月前に多くなったことや、生育の遅れによる収穫の遅れが想定する量より少なかったため。						
担当による評価(担当者若しくは担当係長)		事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	事業内容の見直し	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえつつ評価した理由	農林水産物を県内外へ出荷する際は、他の市町村に比べて輸送費がかかり、生産者の経営を圧迫している。本事業により、輸送費軽減の支援を行うことで農林水産物の生産安定化につながるため、継続が必要である。						
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	県内外へ出荷する農林水産物の輸送費負担軽減を行い、離島における地理的不利性を解消する取り組みを評価したい。			意見	課長と同意見である。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	農-む1	所管課	むらづくり課		担当係	農村整備係	記入者	田村 秀平
経費区分	D	事業名	農地耕作条件改善事業(野呂水地区)					
石垣市総合計画	第一次産業	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和5年度	
R4当初の状況(課題)	野呂水地区は農地耕作条件改善事業(補助金)において、令和3年度までに完了した地区となっている。事業完了後に、地権者が中間管理機構を通し賃貸契約を行っており、畑(サトウキビ)から稲作に転換されたことから、令和4年度に単費を用いてほ場整備を行った。							
めざす目的・成果	本事業は農地中間管理機構による担い手への農地集積等に向けて、地域の多様なニーズに応じたきめ細かな耕作条件の改善、高収益作物への転換や営農定着を目的としている。成果については、畑から高収益作物である稲作への転換により図られる。							
事業内容(手段、手法等)	農地中間管理機構による担い手への農地集積等に向けて、地域の多様なニーズに応じたきめ細かな耕作条件の改善、高収益作物への転換や営農定着に必要な取組等をハードとソフトを組み合わせることを目的とする。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計				7,722	7,000			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			7,722	7,000			
事業費の主な内容				工事請負費	工事請負費			
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			9,490	7,000		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			7,722			
不用額(単位:千円)		不用額			1,768			
(アウトプット指標)		計画値			1.4ha	1.4ha		
整備面積		実績値			1.4ha			
(アウトカム指標)		計画値			100%	100%		
暗渠工により稲作が容易となった。		実績値			100%			
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.2	人分	0.1人分×1名、0.1人分×1名				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		0.2	人分	0.2人分×1名				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	達成済み。							
R4年度において不用額が発生した理由	ほ場整備後に湧水問題が発生し、追加工事として暗渠排水施設整備工事を発注した。工事規模が増大したことにより、令和4年度内で完了できなかったことから令和5年度に繰り越した。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	○ 事業の継続		事業内容の見直し	事業の終了			
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発理由を踏まえて評価した理由	R4で予定していたほ場整備は繰越したものの完了した。不用額については、残りのほ場整備をR5の工事で行うため、地区としてR5に完了することを目標とする。							
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	農地中間管理機構を通し農地の有効活用が見込めたが、転換後の利用開始となるため、引き続き事業を継続したい。			意見	サトウキビから稲作へ早期に農地転換を行い、稲作の作付けに間に合うよう事業の早期完了を目指す。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	農-む2	所管課	むらづくり課		担当係	農村整備係	記入者	見里 出
経費区分	D	事業名	農業基盤整備促進事業(嘉手苅第2地区)					
石垣市総合計画	第一次産業	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和6年度	
R4当初の状況(課題)	本事業は、令和2年度から令和6年度までの継続事業であり、引き続き末端かんがい施設の整備を行い令和6年度事業完了を目指す。							
めざす目的・成果	本地区はサトウキビと牧草を中心とした営農が行われている。前歴事業整備された三型給水施設が地区に隣接しているが、末端かんがい施設は実施されていない。よって、本事業により、末端かんがい施設の整備を行い、農業経営の安定化と規模拡大及び農業所得の向上を図る。							
事業内容(手段、手法等)	畑地かんがい施設未整備箇所へ支線の整備及びスプリンクラー、給水栓の新設を行う。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計		19,002	30,072	12,794	33,313	31,000		
財源内訳	国庫支出金	15,200	24,000	10,178	26,528	24,800		
	県支出金	2,945	4,650	1,972	5,140	4,805		
	地方債	700	1,200	500	1,300	1,200		
	その他							
	一般財源	157	222	144	345	195		
事業費の主な内容		委託料	工事請負費	工事請負費	工事請負費	工事請負費		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		30,147	35,219	33,313		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		30,072	35,181			
不用額(単位:千円)		不用額		75	38			
(アウトプット指標)		計画値		5	29	27		
		実績値		5	29			
(アウトカム指標)		計画値		27%	33%	33%		
		実績値		27%	33%			
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.5	人分	0.3人分×1名、0.2人分×1名				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		0.3	人分	0.3人分×1名				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因								
R4年度において不用額が発生した理由	不用額の主な理由は、入札執行残である。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/> 事業の継続		事業内容の見直し		事業の終了		
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	本事業を継続することにより、農家の所得向上に繋がりが安定経営を支援することができる。また、次年度以降も受益者(農家)の意向に沿い慎重かつ丁寧に説明を行いながら事業を推進する。							
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	担当の評価にもあるように、本事業を継続し農業生産効率の向上と農家経営の安定を図りたい。			意見	本事業を継続し、農地の生産性の向上を図り、持続的な一次産業の創出に努めたい。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	農-水1	所管課	水産課	担当係	振興係	記入者	根原
経費区分	D	事業名	原油価格高騰に係る漁業経営者支援事業				
石垣市総合計画	該当なし	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和5年度
R4当初の状況(課題)	新型コロナウイルス感染症の影響による水産物需要の減退や魚価低迷などに加え、物価高騰と漁業者を取り巻く環境が悪化している。それらを解消するため漁業経営への支援が必要である。						
めざす目的・成果	漁業者が安心安全に漁業活動に取り組めるよう漁業経営の安定を図る。						
事業内容(手段、手法等)	燃料A重油745,000ℓ、軽油732,000ℓの購入価格の一部を補助する。						
事業費(単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計				18,500	18,500		
財源内訳	国庫支出金			18,500	18,500		
	県支出金			-	-		
	地方債			-	-		
	その他			-	-		
	一般財源			-	-		
事業費の主な内容				負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金		
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			37,000	18,500	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			18,500		
不用額(単位:千円)		不用額			18,500		
(アウトプット指標)		計画値			A重油745,000ℓ 軽油732,000ℓ	A重油745,000ℓ 軽油732,000ℓ	
燃料費購入価格の一部補助		実績値			A重油372,500ℓ・軽油366,000ℓ		
(アウトカム指標)		計画値			37,000(千円)	37,000(千円)	
漁業者の漁業経費の削減		実績値			18,500(千円)		
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員		0.1	人分	0.1人分×1名			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	主な取引先である飲食店等の需要低迷による売り上げの減少から、一部の漁業者に出漁を控える動きがみられ未達成となった。						
R4年度において不用額が発生した理由	上記理由をふまえて補助実績額の執行残に対する不用額。						
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	<input checked="" type="radio"/>	事業内容の見直し	<input type="radio"/>	事業の終了
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	原油・物価の高騰等により漁業経営を取り巻く環境は依然厳しい状況にある中、同事業の漁業経営に与える効果は大きいと考えることから事業を継続する。						
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	担当による評価でもあるように、漁業経営の安定化を図るためには事業の継続が望ましい。			意見	課長意見にほぼ同意である。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	農-水2	所管課	水産課	担当係	振興係	記入者	根原
経費区分	D	事業名	おさかなセット販売事業				
石垣市総合計画	該当なし	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和4年度
R4当初の状況(課題)	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、魚類のセリ値の下落や航空便減便に伴い県外流通が減少しているため、市内における魚介類の消費の拡大を促す支援が必要である。						
めざす目的・成果	水揚げされた魚介類の安定した買い取り・消費により安心して漁業活動に取り組めるようにする。						
事業内容(手段、手法等)	島内で水揚げされた魚介類を使用した、おさかなセットを販売し、消費の拡大を促し、生産性の向上を図るため、販売価格の1/2を補助する。						
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計				634			
財源内訳	国庫支出金			634			
	県支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
事業費の主な内容				負担金、補助金及び交付金			
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			1,050		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			634		
不用額(単位:千円)		不用額			416		
(アウトプット指標)		計画値			700セット		
おさかなセット販売の1/2を補助		実績値			423セット		
(アウトカム指標)		計画値			完売 100%		
販路の拡大		実績値			60.4%		
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員		0.1	人分	0.1人分×1名			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	おさかなセットの認知度が低く、目標販売数を下回ったことで未達成となった。						
R4年度において不用額が発生した理由	上記理由をふまえて補助実績額の執行残に対する不用額。						
担当による評価(担当者若しくは担当係長)		事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	事業内容の見直し	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額が発生理由を踏まえて評価した理由	魚類のセリ値の下落や航空便減便に伴い県外流通の減少と漁業経営を取り巻く環境は依然厳しい状況にある中、目標販売数には至らなかったが、新たな販路を拡大するうえで同事業が与える効果は大きいと考える。						
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	担当による評価でもあるように、漁業経営の安定化を図るためには事業の継続が望ましい。			意見	課長意見にほぼ同意である。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例:道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例:渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)									
事業No.	建-都1	所管課	都市建設課		担当係	道路整備係	記入者	金城 尊嗣	
経費区分	D	事業名	街路事業(石垣3・5・11街路)						
石垣市総合計画	住環境	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和6年度		
R4当初の状況(課題)	石垣3・5・11街路は、地域活動の中心となる道路であり、また災害避難路となっているが、幅員が狭小で、災害時における消防活動や救急活動に支障をきたす道路構造となっているため、安全性、避難路としての機能確保の面から早急な整備が求められている。								
めざす目的・成果	車道幅員7.0m(2車線)と歩道5.0m(両側)の確保による12.0mの道路規格への改良								
事業内容(手段、手法等)	年度ごとの進捗や交通状況等を確認しながら計画的に道路工事を行う。								
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)			
合計		13,011	273	16,066	38,320	80,000			
財源内訳	国庫支出金	10,409	218	9,658	30,656	64,000			
	県支出金								
	地方債	2,600	50	6,400	7,600	16,000			
	その他								
	一般財源	2	5	8	64				
事業費の主な内容		補償、補てん及び賠償金	工事請負費	補償、補てん及び賠償金	補償、補てん及び賠償金	補償、補てん及び賠償金			
指標の実績値及び目標値									
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度			
(アウトプット指標)			計画値(予算現額)	273	103,979	126,219			
予算(単位:千円)			実績値(執行予算)	273	16,066				
不用額(単位:千円)			不用額		87,913				
(アウトプット指標)			計画値	40m	40m	40m			
道路の整備延長			実績値	0m	0m				
(アウトカム指標)			計画値	0件	0件	0件			
道路内での交通事故件数			実績値	0件	0件				
(アウトカム指標)			計画値						
			実績値						
業務量				業務量の算出方法					
職員			0.7 人分	0.4人分×1名 0.3人分×1名					
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			0.3 人分	0.3人分×1名					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因									
R4年度において不用額が発生した理由		用地補償の地権者より概ね同意を得ていた為、2次補正予算にて変更交付決定を受け年度内補償契約を結ぶ予定であったが相続関係人と調整が必要となり相続手続きに不測の時間を要した為、繰越となった。 2次補正にて予算を取得(R5.1.13交付決定)した事業費の繰越である。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)		事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続		事業内容の見直し		事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由		石垣3・5・11号街路は、都市計画街路として重要な路線であり2次補正も活用しながら道路用地の取得率も向上しているため現状のまま事業継続したい。							
第1次評価(課等の長)		現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)		現状のまま事業継続したい		
意見		引き続き都市計画道路の整備完了に向けて事業継続したい。			意見		課長意見に同意である。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例:道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例:渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	建-都2	所管課	都市建設課		担当係	道路整備係	記入者	金城 尊嗣
経費区分	D	事業名	街路事業(石垣3・5・19街路)					
石垣市総合計画	住環境	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和5年度	
R4当初の状況(課題)	石垣3・5・19街路は路線近傍に大型ホテル、石垣中央運動公園、中学・高校など多くの施設が立地し、利用価値が高いが現道が無いため、早急な整備が求められている。							
めざす目的・成果	車道幅員7.0m(2車線)と歩道5.0m(両側)の確保による12.0mの道路規格の新設							
事業内容(手段、手法等)	年度ごとの進捗や交通状況等を確認しながら計画的に道路工事を行う。							
事業費(単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計		16,437	12,697	3,751	30,180	21,500		
財源内訳	国庫支出金	12,791	10,157	3,001	24,144	17,200		
	県支出金							
	地方債	3,600	2,500	750	6,000	4,300		
	その他							
	一般財源	46	40		36			
事業費の主な内容		工事請負費	公有財産購入費	委託料	工事請負費	公有財産購入費		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		12,795	16,851	43,280		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		12,218	3,751			
不用額(単位:千円)		不用額		577	13,100			
(アウトプット指標)		計画値		31m	100m	100m		
道路の整備延長		実績値		0m	0m			
(アウトカム指標)		計画値		0件	0件	0件		
道路内の交通事故件数		実績値		0件	0件			
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.7	人分	0.4人分×1名 0.3人分×1名				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		0.3	人分	0.3人分×1名				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因								
R4年度において不用額が発生した理由	用地補償の地権者より同意を得た為、補償契約の締結後に道路用地を取得し、2次補正予算にて変更交付決定を受け年度内での工事完了を目指していたが、補償契約の地権者の相続手続きに時間を要したことから道路用地の取得が遅れ工事の発注が遅れたことにより繰越となった。 2次補正にて予算を取得(R5.1.13交付決定)した事業費の繰越である。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	○ 事業の継続		事業内容の見直し	事業の終了			
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	石垣3・5・19街路は、都市計画街路として重要な路線であり取得済みの道路用地では道路規格は改良され、事業の効果も現れ一定の効果を上げている。引き続き2次補正も活用しながら道路規格の改良を進めるため現状のまま事業継続したい。							
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	引き続き都市計画道路の整備完了に向けて事業継続したい。			意見	課長意見に同意である。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	建-都3	所管課	都市建設課		担当係	計画係	記入者	喜舎場 広和
経費区分	D	事業名	旧石垣空港跡地環境影響評価事業(沖振交)					
石垣市総合計画	該当なし	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和13年度	
R4当初の状況(課題)	環境影響評価の対象である空港跡地土地区画整理事業及び関連事業の計画変更に伴い当該都市計画決定要件である環境影響評価を修正する必要が生じた。それらを踏まえ関係機関等と調整を十分に行い、事業を推進める。							
めざす目的・成果	予定されている石垣空港跡地土地区画整理事業が環境へどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめ調査・予測・評価を行い、住民や知事等から意見を聴き、それらを踏まえて、環境の保全の観点からよりよい事業計画を作成していく。また、評価書に準じた事後調査を区画整理事業期間中は実施する必要があるため、継続して事業を進めていく。							
事業内容(手段、手法等)	石垣空港跡地の早期利用を図るため、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計		24,545		4,081	22,055	22,293		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	19,635		3,264				
	地方債							
	その他							
一般財源		4,910		817	22,055	22,293		
事業費の主な内容		委託料		委託料	委託料	委託料		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			25,355	22,055		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			4,081			
不用額(単位:千円)		不用額			21,274			
(アウトプット指標)		計画値						
		実績値						
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.3	人分	30%×1人				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	本事業は対象となる事業が環境に及ぼす影響に対してあらかじめ調査・予測・評価を実施するもので、数値で表すことは困難である。未達成の原因については、関連事業の計画変更に伴い環境影響評価の修正が生じたことにより日数を要したこと。							
R4年度において不用額が発生した理由	空港跡地土地区画整理事業の計画変更に伴い、環境影響評価の修正が生じたことによる、減額変更契約の執行残。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	<input type="radio"/>	事業内容の見直し	<input type="radio"/>	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発理由を踏まえて評価した理由	本事業は対象となる事業が環境に及ぼす影響に対してあらかじめ調査・予測・評価を実施するもので、数値で表すことは困難である。不用額の発生については関連事業の計画変更に伴い、環境影響評価の修正によるものであるが、修正作業については関連する事業と調整を行い作業を終えた。							
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	石垣空港跡地土地区画整理事業推進のため引き続き事業継続したい。			意見	課長意見に同意である。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	建-港1	所管課	港湾課		担当係	施設整備係	記入者	新垣
経費区分	D	事業名	港湾環境整備事業費					
石垣市総合計画	都市機能	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和8年度	
R4当初の状況(課題)	当事業は沖縄振興公共投資交付金(ハード交付金)を活用し、事業を進めているが、予算要望額に対して交付決定される額が低額であるため、事業進捗が計画より遅れている。 新港地区のにぎわい創出を図るため予算の確保が課題となっている。							
めざす目的・成果	新港地区に緑地(人工ビーチ)を整備することで、地域住民や観光客の憩いの場を形成する。							
事業内容(手段、手法等)	人工ビーチの整備を行う。							
事業費(単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計			92,282	92,587	115,550	-		
財源内訳	国庫支出金		55,355	55,551	69,235	-		
	県支出金					-		
	地方債		33,100	33,320	41,500	-		
	その他					-		
	一般財源		3,827	3,716	4,815	-		
事業費の主な内容			工事請負費	工事請負費	工事請負費	-		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			106,600	115,550		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			92,587			
不用額(単位:千円)		不用額			14,013			
(アウトプット指標)		計画値						
		実績値						
(アウトカム指標)		計画値						
人工ビーチ利用者数(完成後に137,413人/年)		実績値						
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.5	人分	0.5×1=0.5人分				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	なし							
R4年度において不用額が発生した理由	翌年度繰越額 102,992 関係機関との協議に日数を要したため							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続		事業内容の見直し	事業の終了		
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえた評価した理由	新港地区においては令和3年春に20t級対応のクルーズバスが完成し、今後増々活性化することが期待されている。 新港地区のにぎわい創出に資するため、当該事業を継続して実施する必要がある。							
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	担当による評価でもあるように、事業目的達成のため、現状のまま事業継続としたい。			意見	課長意見に同意			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	建-施1	所管課	施設管理課		担当係	道路維持係	記入者	石垣 英作
経費区分	C	事業名	公共施設緑化整備事業					
石垣市総合計画	住環境	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	37	事業終了年度	継続事業	
R4当初の状況(課題)	道路植栽、公園等の樹木の適正管理を行う必要がある。 街路樹に関しては、植栽後年数を経過し、大型化した樹木も多数あり、通行の妨げや道路構造物の破損、電線との接触などの支障がある。また、大型化した街路樹の強剪定に対する苦情もある。 街路樹の植え替えや撤去、剪定方法等、街路樹の今後のあり方を検討し、維持管理に関する計画を策定する必要がある。							
めざす目的・成果	道路植栽、公園等の樹木の適正な管理が行えている。							
事業内容(手段、手法等)	道路植栽等の現況調査を行い、有識者等を含めた委員会を開催し管理計画を策定する。 その後、管理計画に沿って道路植栽等の管理を行う。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計		17,759	26,332	3,676	1,343	1,343		
財源内訳	国庫支出金	-	-	-	-	-		
	県支出金	-	-	-	-	-		
	地方債	-	-	-	-	-		
	その他	-	-	-	-	-		
	一般財源	17,759	26,332	3,676	1,343	1,343		
事業費の主な内容		委託料	委託料	報酬	役務費	役務費		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		27,299	7,916	1,343		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		26,332	3,676			
不用額(単位:千円)		不用額		966	4,240			
(アウトプット指標)		計画値		-	-	3		
委員会の開催		実績値		-	-			
(アウトカム指標)		計画値		-	-	-		
		実績値		-	-			
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.2	人分	0.2人分×1名				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	道路植栽等の現況調査に時間を要した。調査終了後に委員会を開催する予定。							
R4年度において不用額が発生した理由	道路植栽等の現況調査に時間を要した、測量調査費をR5年度予算に繰り越しを行ったため。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/> 事業の継続		事業内容の見直し	事業の終了			
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発理由を踏まえて評価した理由	事業効果については、計画策定後に現れる。 不用額については、道路植栽等の現況調査に時間を要するため、測量調査費をR5年度予算に繰り越したため。							
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい			
意見	引き続き事業継続としたい。			意見	課長意見に同意である。			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	教-総1	所管課	教育総務課	担当係	総務係	記入者	慶田城 綾	
経費区分	D	事業名	児童・生徒派遣費助成事業(沖振交)					
石垣市総合計画	教育	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	32	事業終了年度	令和13年度	
R4当初の状況(課題)	コロナ禍において派遣数が減少していたが、令和4年度においては徐々に大会等が開催されると見込まれる。また、派遣費補助の周知を充足することにより、事業の執行率も上がるものとする。							
めざす目的・成果	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。							
事業内容(手段、手法等)	市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計		18,161	27,650	41,896	41,690	59,225		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	14,529	22,120	33,517	33,352	47,380		
	地方債							
	その他							
	一般財源	3,632	5,530	8,379	8,238	11,845		
事業費の主な内容		負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		44,100	52,892	42,190		
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		27,650	41,896			
不用額(単位:千円)		不用額		16,450	10,996			
(アウトプット指標)		計画値		前年比 97%	前年比 120%	前年比 80%		
助成予算額		実績値		前年比 152%	前年比 152%			
(アウトカム指標)		計画値		80%	80%	80%		
派遣費助成に対する満足度		実績値		100%	100%			
(アウトカム指標)		計画値						
		実績値						
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.3	人分	0.3人分×1名				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		1	人分	0.5人分×2名				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	未達成なし							
R4年度において不用額が発生した理由	コロナ禍の影響によって、計画より派遣費の申請がなかったため不用額が生じた。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	<input type="radio"/>	事業の拡大	<input type="checkbox"/>	事業の継続	<input type="checkbox"/>	事業内容の見直し	<input type="checkbox"/>	事業の終了
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえた評価した理由	令和4年度においては新型コロナウイルス感染症の感染対策緩和があったことにより、派遣費の申請件数が大幅に増加した。今後も派遣費の申請件数の増が見込まれることに加えて、八重山三市町で補助対象経費が異なっており、格差が生じているため、県内間における教育格差の是正及び八重山圏域の制度の標準化をおこなっていききたい。							
第1次評価(課等の長)	事業を拡大したい			第2次評価(部等の長)	事業を拡大したい			
意見	離島交通費の格差是正については、引き続き取り組む課題であり、事業拡充により児童生徒及び保護者の経済的負担軽減に努めていきたい。			意見	離島間の格差是正により保護者等の負担軽減に繋がると考える			

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	教-総2	所管課	教育総務課	担当係	総務係	記入者	慶田城 綾
経費区分	D	事業名	児童・生徒派遣費助成事業(年度末)				
石垣市 総合計画	教育	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	32	事業終了年度	令和13年度
R4当初 の状況 (課題)	コロナ禍において派遣数が減少していたが、令和4年度においては徐々に大会等が開催されると見込まれる。また、派遣費補助の周知を充足することにより、事業の執行率も上がるものとする。						
めざす 目的・ 成果	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。						
事業 内容 (手段、 手法等)	市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。						
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計		1,749	1,283	2,252	3,341	2,341	
財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	1,749	1,283	2,252	3,341	2,341	
事業費の主な内容		負担金、補助金及 び交付金	負担金、補助金及び 交付金	負担金、補助金及 び交付金	負担金、補助金及 び交付金	負担金、補助金及 び交付金	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		1,283	2,252	3,341	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		1,900	5,283		
不用額(単位:千円)		不用額		617	3,031		
(アウトプット指標)		計画値		前年比 73%	前年比 175%	前年比 148%	
助成予算額		実績値		前年比 106%	前年比 278%		
(アウトカム指標)		計画値		80%	80%	80%	
派遣費助成に対する満足度		実績値		100%	100%		
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員			0.1 人分	0.1人分×1名			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			0.2 人分	0.1人分×2名			
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	未達成なし						
R4年度において不用額が発生した理由	令和4年度においては、石垣市まちづくり支援寄附金2,283千円とは別に、教育関係への寄附金が300万円あったため、石垣市まちづくり支援寄附金を活用せず、教育関係の寄附金を利用した。						
担当による評価 (担当者若しくは担当係長)		<input type="radio"/> 事業の拡大	<input type="checkbox"/> 事業の継続	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 事業の終了		
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	令和4年度においては新型コロナウイルス感染症の感染対策緩和があったことにより、派遣費の申請件数が大幅に増加した。今後も派遣費の申請件数の増が見込まれることに加えて、八重山三市町で補助対象経費が異なっており、格差が生じているため、県内間における教育格差の是正及び八重山域圏の制度の標準化をおこなっていきたい。						
第1次評価 (課等の長)	事業を拡大したい			第2次評価 (部等の長)	事業を拡大したい		
意見	離島交通費の格差是正については、引き続き取り組む課題であり、事業拡充により児童生徒及び保護者の経済的負担軽減に努めていきたい。			意見	離島間の格差是正により、保護者等の負担軽減に繋がると考える。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	教-学1	所管課	学務課	担当係	学務課	記入者	西原 ちか子
経費区分	C	事業名	遠距離生徒通学対策費				
石垣市総合計画	教育	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業
R4当初の状況(課題)	通学距離が遠距離となる一部の生徒については、通学にバスでの移動を要するため、徒歩で通う生徒よりも通学に係る経済負担が大きい状態となっている。 川平中学校7名(吉原2名、山原5名)、石垣第二中学校3名(おもと1名、開南2名)、大浜中学校9名(三和1名、川原8名)、伊原間中学校5名(平久保2名、久宇良1名、明石3名)の計25名が対象者となっている。						
めざす目的・成果	通学距離が遠距離となる生徒に対し、通学にかかる費用の一部を補助することで、義務教育の機会均等を図り、通学時の安全を確保する。						
事業内容(手段、手法等)	「石垣市遠距離通学児童生徒に対する通学費補助規則」に基づきバス運賃(片道)×出席日数分の補助額を交付する。						
事業費(単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計		878	1,029	727	927	927	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	878	1,029	727	927	927	
事業費の主な内容		負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	負担金、補助金及び交付金	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)			1,134	1,134	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)			727		
不用額(単位:千円)		不用額			407		
(アウトプット指標)		計画値		3回	3回	3回	
出席日数の把握		実績値		3回	3回		
(アウトカム指標)		計画値		100%	100%	100%	
対象児童生徒への助成率		実績値		100%	100%		
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員			0.1 人分	0.1人分×1名			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因							
R4年度において不用額が発生した理由		利用見込み生徒の利用回数が減のため不用額が発生した					
担当による評価(担当者若しくは担当係長)		事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	事業内容の見直し	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえた評価した理由		公共交通機関での通学を余儀なくされる地域に住む子育て世帯の負担を軽減できた。 今後は対象地域に継続して居住する児童生徒の把握方法について学校等と連携し、不用額を発生させないよう改善を図る。					
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	担当による評価にもあるように、子育て世帯への負担軽減につながっている。見込み数生徒の把握について改善を図ったうえで継続していきたい。			意見	保護者等の負担軽減にむけ、今後も継続して事業を行う必要がある。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	教-教1	所管課	学校教育課	担当係	指導係	記入者	喜久本 利恵
経費区分	D	事業名	総合的学習事業				
石垣市総合計画	教育	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業
R4当初の状況(課題)	新型コロナウイルス感染症が依然と流行し、1学期は、遠足やバスを利用した校外学習の延期や中止が相次いだ。しかしながら、2学期以降は、各学校が工夫を凝らし感染対策を徹底しながら、校外学習や外部講師を招聘した参集型の講話等も実施された。						
めざす目的・成果	<ul style="list-style-type: none"> ●目的:多様な専門人材による講話等の教育活動や校外活動を通して児童生徒及び教職員が多角的なものの見方や考え方を養う。 ●令和4年度においては、初の試みとして、石垣市が県外から講師を招聘し、希望する学校で教育講演会を実施(演題:全盲の世界を超ポジティブに生きる ※盲導犬も来島 実績:市内4小学校 6回の講話を実施) 						
事業内容(手段、手法等)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域文化の継承、国際理解、SDGs、環境学習等各学校による特色ある学習活動をととして横断的に学びを深める総合的な学習の時間の活動費(手段:謝礼金は各校に一律1回分配、消耗品は、クラス数に応じて配分、バス賃借料は使用計画のある学校に配分。学校は、割当られた予算の中で計画的に執行) ●教育講演会の実施(手段:企画調整、旅費等手配は市が担い、希望する学校で講演会を実施) 						
事業費 (単位:千円)	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計	732	802	879	1,122	1,122		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	732	802	879	1,122	1,122	
事業費の主な内容	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※			R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)	計画値(予算現額)		1,062	1,271	1,122		
予算(単位:千円)	実績値(執行予算)		802	879			
不用額(単位:千円)	不用額		260	392			
(アウトプット指標)	計画値		4回	4回	4回		
予算の有効的活用の周知	実績値		4回	4回			
(アウトカム指標)	計画値		24校	24校	20校		
講師招聘し、講話等をした学校数(全24校)	実績値		15校	15校			
(アウトカム指標)	計画値						
	実績値						
業務量			業務量の算出方法				
職員	1	人分	当該業務は学校担当職員及び教育委員会担当職員のみで従事(0.5×2人)				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		人分					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	<p>地域人材の厚意により謝礼金を使用せず実施している講話や活動、新型コロナウイルス感染症の影響等により年間計画上、講師等の招聘が難しい学校が多数あったため未達成となっている。</p> <p>一方、学校によっては、複数回講師を招聘し講演会等開催の実績もあり、令和5年度からは、全学校一律1回分の予算配分ではなく、希望する学校に割当するなど、予算の配分方法を変更している。</p>						
R4年度において不用額が発生した理由	<ul style="list-style-type: none"> ●謝礼金:講師招聘ができなかったことによる不用額 ●バス賃借料:沖縄県による「貸切バス活用支援事業」が実施され、上限はあるものの実費の半額は当該補助を活用することができた。そのため、1台あたりの単価が低くなったことによる不用額。また、1学期の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中止となった分の不用額 ●旅費:市主催教育講演会講師旅費の執行残 						
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続		事業内容の見直し		事業の終了
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	<p>本事業は主に貸切バスの補助と講師謝礼であるが、前者は、校外活動を行う際の補助で、協働学習及び学習の理解を深めるために大きく寄与している。さらに、後者は、地域学習や国際理解、SDGsや環境学習等、各専門分野の外部人材の活用により多角的な見方・考え方を学び、自律的学習の促進に非常に有効的なものであるため、事業の継続は必須である。但し、学校の規模や年間計画によっては、講師の招聘が難しいという声もあるため、令和4年度に実施したような市主導の学校教育講話形式が非常に効果的であると考え。</p> <p>また、今後は、臨機応変に予算の組替えを行い、希望する学校へ効果的に予算配分ができるよう取り組んでいきたい。</p>						
第1次評価(課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	本事業における多様な専門人材による講話等の教育活動や、身近にある教育資源を現地見学する等の校外活動を通して児童生徒、さらには教職員が多角的なものの見方や考え方を身につけると考える。			意見	本事業は、児童生徒の学習に多角的な視点を加え自律的な学習を促進する効果的な事業である。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	教-教2	所管課	学校教育課	担当係	指導係	記入者	西表 知彦	
経費区分	D	事業名	学力向上対策費					
石垣市総合計画	教育	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業	
R4当初の状況(課題)	コロナ禍での活動制限が少しずつ緩和される中、各学校においては、子供主体の教育活動が展開されつつある。しかしながら、中学校期の学力課題は全国平均との差の開きからも喫緊の課題である。							
めざす目的・成果	児童・生徒の学習活動の充実と教職員及び地域住民、保護者の資質向上を柱とした学力向上の推進を図る。 【・目標検定受検者数(小6年・中3年):250人 ・算数・数学フェスティバル目標参加者:150人】							
事業内容(手段、手法等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別最適な学び」の実現に向けた研究会や講演会の実施 ・地域塾(算数・数学フェスティバル)の開催 ・検定受験料補助 ・中学校3年学力調査 							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計		6,060	2,010	2,089	3,099	3,099		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	439	511	520	831	831		
	一般財源	5,621	1,499	1,569	2,268	2,268		
事業費の主な内容		需用費	委託料	委託料	委託料	委託料		
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)				計画値(予算現額)	2,726	2,947	3,099	
予算(単位:千円)				実績値(執行予算)	2,010	2,089		
不用額(単位:千円)				不用額	716	858		
(アウトプット指標)				計画値	70人	110人	140人	
算数・数学フェスティバル参加人数増加に向けたオンライン開催				実績値	93人	130人		
(アウトプット指標)				計画値	5回	5回	5回	
教職員・市民向けの講演会の周知回数(新聞・周知文)				実績値	-	5回		
(アウトカム指標)				計画値	70人	110人	140人	
算数・数学への興味・関心の向上に伴う参加人数の増加				実績値	93人	130人		
(アウトカム指標)				計画値	400人	500人	520人	
教職員・市民向けの講演会の参加人数				実績値	-	502人		
業務量				業務量の算出方法				
職員		0.1	人分	0.1人分×1名				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因								
R4年度において不用額が発生した理由		<ul style="list-style-type: none"> ●講演会講師謝礼金・講師旅費の執行残(新型コロナウイルス感染症の影響による講演会開催の中止や講師意向による旅費不要となったため) ●その他、委託料、需用費、補助金(学力向上推進委員会(検定料補助))執行残 						
担当による評価(担当者若しくは担当係長)		事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	事業内容の見直し	事業の終了		
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由		児童生徒の学力向上推進は、本市の未来を担う人材育成と直結する大きな事項である。学力向上は学校・家庭・地域が一丸となり取り組む必要があり、市民・教職員向けの講演会の効果は大きい。また、児童生徒の学習意欲の向上に関して算数・数学フェスティバルの開催、検定料補助、中学校3年学力調査は有効な取り組みであり、今後も継続した開催が効果的であるとする。						
第1次評価(課等の長)		現状のまま事業継続したい			第2次評価(部等の長)		現状のまま事業継続したい	
意見		本事業においては、児童・生徒の学習活動の充実と教職員及び地域住民、保護者の資質向上を柱とした学力向上の推進することができる。本市の未来を担う人材育成に直結する事業であるとする。			意見		本事業は、児童・生徒の学力向上を推進する効果的な事業である。	

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	教-い1	所管課	いきいき学び課	担当係	青少年係	記入者	橋本 靖子
経費区分	D	事業名	子ども若者総合相談支援事業(沖振交)				
石垣市 総合計画	教育	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和13年度
R4当初 の状況 (課題)	令和2年度に実施したひきこもりに関する実態調査の結果、本市には生産年齢における狭義のひきこもり(自宅からほとんど出ない)が約121名、広義のひきこもり(趣味、買物等用事のある時だけ外出する)が967名いるとの推計値が出ている。コロナ禍で「外に出ないこと」を奨励される世の中になってしまったことからその数は増加している事も思慮され、その問題に対応し状況を改善させる相談支援体制の整備が必要不可欠である。						
めざす 目的・ 成果	ユースアドバイザーを8名配置し、相談窓口の設置、相談・支援業務を実施する。 本事業で支援を受けた者の数を47名以上とし、支援を受けた者の内、本事業の支援によって支援を要しない状況となった者の割合を46%以上とする。						
事業 内容 (手段、 手法等)	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者(不登校・引きこもり・ニート等)の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、対象者の相談業務を行うユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。また、臨床心理士をスーパーバイザーとして委嘱し、ユースアドバイザーや支援に関わる関係者への指導、助言を行うスーパーバイズ、また支援対象者、保護者、関係者への個別相談を行う。						
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計		12,452	12,889	15,384	20,300	26,859	
財 源 内 訳	国庫支出金	9,960	10,309	12,307	16,240	21,487	
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	2,492	2,580	3,077	4,060	5,372	
事業費の主な内容		報酬	報酬	報酬	報酬	報酬	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		13,747	27,609	20,300	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		12,898	15,384		
不用額(単位:千円)		不用額		849	12,225		
(アウトプット指標)		計画値		4人、設置	8人、設置	6人、設置	
ユースアドバイザーの配置、子ども若者相談窓口の設置		実績値		4人、設置	7人、設置		
(アウトカム指標)		計画値		40人	47人	50人以上	
本事業で支援を受けた者の数		実績値		55人	53人		
(アウトカム指標)		計画値		37.50%	46%	50%	
支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合		実績値		80%	56.60%		
業務量			業務量の算出方法				
職員		1	人分	子ども若者総合相談支援事業5割・不登校等対策支援事業2割・教育相談事業1割、青少年育成事業2割。職員2人×5割=1人分			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		6.4	人分	会計年度:子ども若者総合相談支援事業10割×6名=6人分 再任用:子ども若者総合相談支援事業4割・不登校等対策支援事業1割・教育相談事業1割、青少年育成事業4割。再任用1名×4割=0.4人分			
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	全て達成している。						
R4年度において不用額が発生した理由	当初予定していたユースアドバイザーの配置不足のため						
担当による評価 (担当者若しくは担当係長)	事業の拡大	○	事業の継続	事業内容の見直し	事業の終了		
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえつつ評価した理由	当初ユースアドバイザーを8人雇用予定であったが、コロナ禍以降に顕著化している人手不足の影響により7名の雇用にとどまった。またコロナの影響で支援においても面談を拒まれるなど困難な状況であったが、ソーシャルメディアの活用等により改善させ、支援アウトカム指標をすべて達成できたことから評価した。						
第1次評価 (課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価 (部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	不登校、ニート、ひきこもり等への支援を実施し社会的自立を図っていくことは、将来を担う人材の確保に資するものであり事業を継続したい。			意見	課長意見に同意である。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)
アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)							
事業No.	教-文1	所管課	教育部 文化財課	担当係	文化財係 記念物係	記入者	下野 栄高
経費区分	C	事業名	文化財保護啓発費				
石垣市 総合計画	教育	R5 施政方針	記載なし	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業
R4当初 の状況 (課題)	指定文化財等を積極的に活用し、文化財愛護思想の高揚を図るために、市民が身近な文化財に触れる機会となる巡見等の保護啓発事業を実施する必要がある。						
めざす 目的・ 成果	文化財愛護思想の高揚、文化財の保護啓発および活用						
事業 内容 (手段、 手法等)	市民を対象とした文化財めぐり、戦跡めぐり及び自然観察会等の開催。文化財パトロールの実施。 R4年度は傷病カムリワシ救護業務を7月から実施した。本業務は、R5年度は文化財保護啓発費とは別の事業(傷病カムリワシ救護事業)として実施している。						
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)	
合計		1,294	873	4,290	1,020	1,020	
財 源 内 訳	国庫支出金	-	-	-	-	-	
	県支出金	-	-	-	-	-	
	地方債	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	
	一般財源	1,294	873	4,290	1,020	1,020	
事業費の主な内容		需用費	需用費	委託料	需用費	需用費	
指標の実績値及び目標値							
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度	
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		912	5,771	1,020	
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		873	4,290		
不用額(単位:千円)		不用額		39	1,481		
(アウトプット指標)		計画値		3	3	3	
市民を対象とした講座の開催数		実績値		1	1		
(アウトカム指標)		計画値		45	45	45	
市民を対象とした講座等の参加者数		実績値		15	21		
(アウトカム指標)		計画値					
		実績値					
業務量				業務量の算出方法			
職員		1.4	人分	0.2×7人=1.4人			
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員			人分				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	文化財めぐりを1回開催したが、戦跡めぐり及び自然観察会は、新型コロナウイルスの感染拡大により開催することができなかった。						
R4年度において不用額が発生した理由	傷病カムリワシ救護業務において、救護件数が想定を下回ったことによる不用額が主である。						
担当による評価 (担当者若しくは担当係長)		事業の拡大	○ 事業の継続	事業内容の見直し	事業の終了		
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	文化財めぐり等の講座は、市内各地に所在する文化財に市民が直接ふれる機会であり、文化財の愛護及び保護啓発のために、今後も継続すべき事業である。 R4年度に限り、年度途中より本事業の枠組みで実施した傷病カムリワシ救護事業は、救護件数が想定を下回ったため不用額が発生したが、市民の関心が高い取り組みであり、R5年度は別の事業(傷病カムリワシ救護事業)として実施している。						
第1次評価 (課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価 (部等の長)	現状のまま事業継続したい		
意見	文化財巡り等の講座は、継続して実施することによって市民の文化財への関心を高めてきた事業である。傷病カムリワシ救護事業は別事業で実施することにはなるが、現状のまま事業を継続したい。			意見	講座は市民の文化財への関心を高める効果があることから評価されている。また、カムリワシ救護事業も市民の関心が高い取り組みである。		

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)									
事業No.	教-市1	所管課	市史編集課		担当係	市史編集係	記入者	吉本	
経費区分	C	事業名	市史編集事業費						
石垣市総合計画	文化	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	継続事業		
R4当初の状況(課題)	石垣市史の編集及び石垣市史研究資料並びに石垣市史叢書等の図書の編集・発刊作業を実施しているが、前年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響等により計画的な事業の実施が厳しい状況が想定されるため、事業スケジュール等を再検証・調整する必要がある。								
めざす目的・成果	市史編集事業は、郷土八重山の祖先がたどった足跡を明らかにし、先人が残した歴史・文化を記録に留めることにより、市民のために資する歴史・文化を集大成していくことを目指すものである。								
事業内容(手段、手法等)	史(資)料の収集・調査を行うとともに、市史編集委員会及び各小委員会における内容の精査等を行いながら図書を編集・刊行する。								
事業費(単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)			
合計		3,317	3,154	2,867	4,032	4,170			
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	370	370	362	372	372			
	一般財源	2,947	2,784	2,505	3,660	3,798			
事業費の主な内容		需用費	需用費	需用費	需用費	需用費			
指標の実績値及び目標値									
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度			
(アウトプット指標)		計画値(予算現額)		3,991	3,643	4,032			
予算(単位:千円)		実績値(執行予算)		3,154	2,867				
不用額(単位:千円)		不用額		837	776				
(アウトプット指標)		計画値		2回	2回	2回			
市史編集委員会の開催		実績値		1回	2回				
(アウトカム指標)		計画値		1図書	1図書	2図書			
図書の発刊又は増刷		実績値		1図書	1図書				
(アウトカム指標)		計画値		380,000	368,000	372,000			
図書販売代金(円)		実績値		361,360	481,120				
業務量				業務量の算出方法					
職員		1	人分	0.5人分×2名					
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		0.5	人分	0.5人分×1名					
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	全て達成している。								
R4年度において不用額が発生した理由	本事業において予定していた、図書刊行に係る各種調査が諸事情により延期・中止となったことに伴う謝礼金の執行残、執筆原稿本数等が想定よりも少なかったことに伴う筆耕翻訳料の執行残が生じたため。								
担当による評価 (担当者若しくは担当係長)		事業の拡大	<input type="radio"/>	事業の継続	事業内容の見直し	事業の終了			
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	当該事業は、市史編集委員等の有識者の指導・助言を踏まえ、密接に連携しながら図書の編集・刊行を行うものであるため、担当職員にも文化的な知識や経験が求められる。特に古文書を扱う石垣市史叢書の編集作業には、翻字・訳文に関する知識が必要である。また、石垣市史研究資料では、地域に伝わる民話を方言を基に編集作業を行うため方言の理解が求められる。このように短期間での習得が困難な専門的知識が必要な事業であることから、担当者の専門性等を考慮した配置、長期的な人材育成を視野に入れながら、安定的に事業を継続していく必要がある。								
第1次評価 (課等の長)	現状のまま事業継続したい			第2次評価 (部等の長)	現状のまま事業継続したい				
意見	担当の評価にもあるように市史編集事業には、専門的な知識を有する職員の確保が必要であるため、人材育成を図りながら継続して事業を進めたい。			意見	市史編集事業は、石垣市の歴史や文化を後世に伝える重要な事業であり、人材育成を図りながら継続して事業をすすめることによりさらなる成果を上げることが期待できる。				

アウトプット指標: 目的を達成するための取組(例: 道路の整備延長、パトロール巡回回数、委員会の開催数など)

アウトカム指標: 事業によって得られる成果(例: 渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)

行政評価シート(令和4年度実施事業)								
事業No.	教-博1	所管課	博物館		担当係	管理係	記入者	羽地 学
経費区分	D	事業名	博物館開館50周年記念事業					
石垣市総合計画	文化	R5 施政方針	記載あり	マニフェスト 番号	記載なし	事業終了年度	令和4年度	
R4当初の状況(課題)	八重山博物館は、令和4年10月に開館50周年を迎えた。半世紀という大きな節目にあたり、博物館活動に関わってこられた方々に感謝するとともに、新博物館建設を見据えた歩みを進めるため、市民、来訪者が博物館に魅力を感じる機会とする。							
めざす目的・成果	50周年記念講演会100名、記念企画展1,000名以上の来場者を目指す。							
事業内容(手段、手法等)	開館50周年記念式典:寄贈・寄託者及び博物館に関わってきた方へ感謝状贈呈、50年の歩みスライドショー 記念講演会:企画展と関連し、「喜舎場永珣と資料」について講演会を行う。 記念企画展:平成24年度に寄贈された喜舎場永珣資料に焦点をあて、人物や資料について展示し紹介する。							
事業費 (単位:千円)		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 予算額	R6年度 予算額(予定)		
合計				772				
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源				772				
事業費の主な内容				需用費				
指標の実績値及び目標値								
アウトプット・アウトカム指標※				R3年度	R4年度	R5年度		
(アウトプット指標)			計画値(予算現額)		972			
予算(単位:千円)			実績値(執行予算)		772			
不用額(単位:千円)			不用額		200			
(アウトプット指標)			計画値		1,100			
記念講演会及び企画展の来場者数			実績値		1,476			
(アウトカム指標)			計画値		4,000			
博物館入館者数			実績値	4,323	9,219			
(アウトカム指標)			計画値					
			実績値					
業務量				業務量の算出方法				
職員		1.5	人分	0.5人分×3名				
会計年度任用職員・再任用職員・臨任職員		0.9	人分	0.3人分×3名				
R4年度においてアウトカム指標で未達成の項目がある場合、未達成の原因	全て達成している。							
R4年度において不用額が発生した理由	感謝状用紙等を特注品から規格品に変更したことにより、印刷製本費、消耗品費の支出が減少した。							
担当による評価(担当者若しくは担当係長)	事業の拡大		事業の継続		事業内容の見直し	<input type="radio"/>	事業の終了	
R4年度のアウトカム指標の結果並びに不用額の発生理由を踏まえて評価した理由	開館50周年記念事業をとおして、開館から50年を総括し、当館の所蔵資料や八重山の歴史文化研究の礎を築いた喜舎場永珣について多くの方々に周知、理解を深めることができた。							
第1次評価(課等の長)	目的を達成したため、事業終了としたい			第2次評価(部等の長)	目的を達成したため、事業終了としたい			
意見	講演会と企画展を連動させ実施したことで多くの来場者があり、博物館活動の周知、理解を深めることができた。			意見	開館50周年記念事業は、博物館の歴史と活動を振り返り、地域社会への貢献を再認識する重要な事業となった。			

アウトプット指標:目的を達成するための取組(例:道路の整備延長、パトロール巡回件数、委員会の開催数など)

アウトカム指標:事業によって得られる成果(例:渋滞がどの程度緩和されたか、犯罪がどの程度減少したかなど)